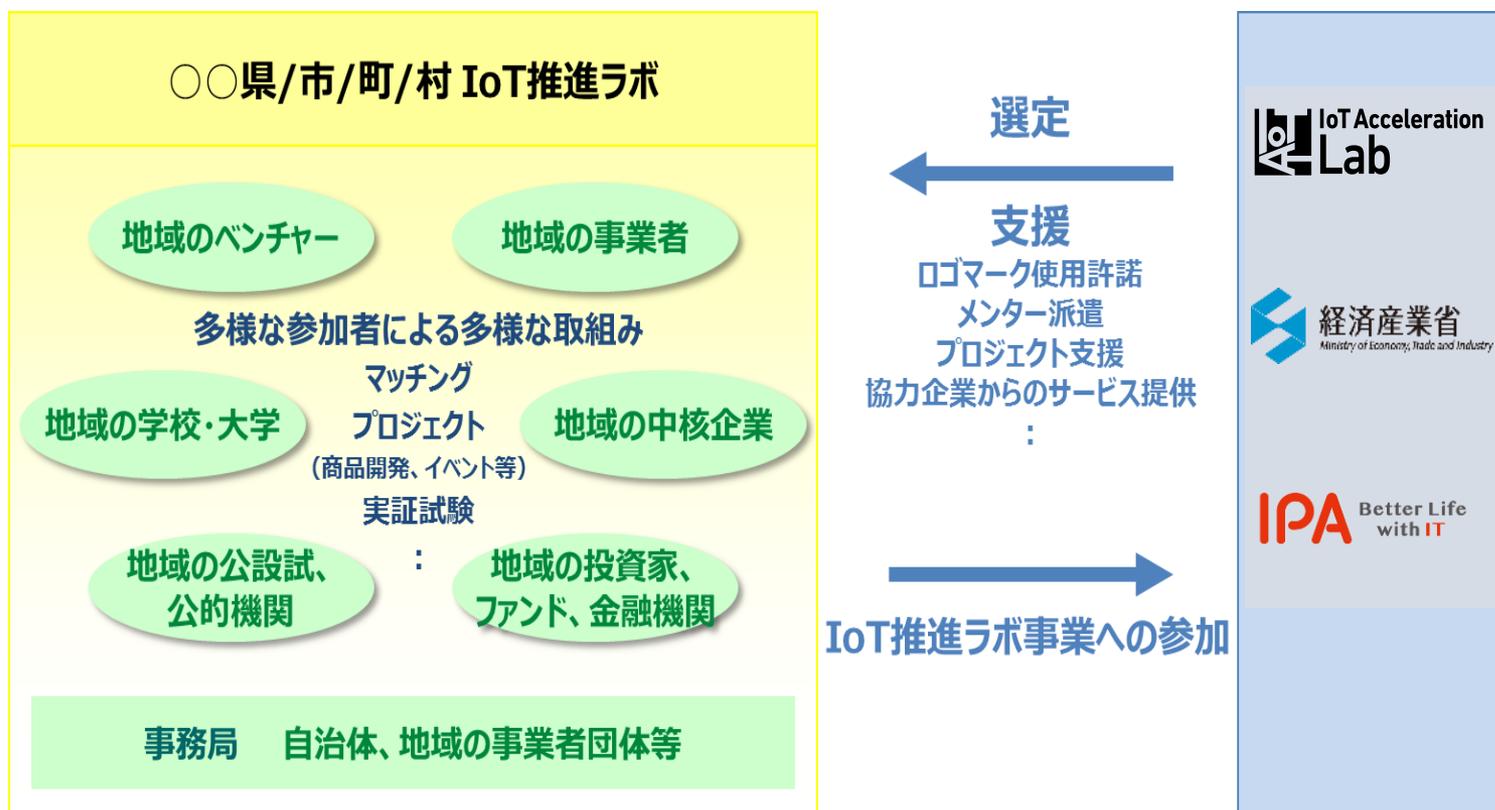


地域のIoTビジネス創出支援 (地方版IoT推進ラボ) 全国の先進事例

社会基盤センター イノベーション推進部 リサーチグループ
(地方版IoT推進ラボ事務局) 主幹 中村 慧

地方版IoT推進ラボの概要

- 経済産業省・IPAは2016年から、IoT等により地域課題を解決し、新しいビジネスを創出する取組(プラットフォーム)を**地方版IoT推進ラボ**として選定し、各ラボを支援。
- 選定の基準は、①地域性、②自治体の積極性と継続性、③多様性と一体感。



地方版IoT推進手法選定地域（全国93地域）IPA

- 第1弾 2016年7月 29地域選定
- 第2弾 2017年3月 24地域選定
- 第3弾 2017年8月 21地域選定
- 第4弾 2018年9月 19地域選定

※丸数字は選定期

中部経産局管内（14）

- ・富山県①
- ・石川県①
- ・加賀市①
- ・白山市②
- ・かほく市③
- ・岐阜県①
- ・郡上市③
- ・各務原市③
- ・愛知県①
- ・名古屋市②
- ・豊田市②
- ・幸田町③
- ・三重県①
- ・能美市④

中国経産局管内（6）

- ・鳥取県③
- ・岡山県③
- ・瀬戸内市③
- ・広島県①
- ・島根県①
- ・山口県②

近畿経産局管内（14）

- ・福井県①
- ・鯖江市②
- ・永平寺町③
- ・滋賀県②
- ①
- ・米原市④
- ・京都市①
- ・大阪府②
- ・大阪市①
- ・八尾市④
- ・和歌山県
- ・淡路市③
- ・奈良県①
- ・明日香村③
- ・和歌山県
- ・神戸市①

九州経産局管内（13）

- ・福岡県①
- ・北九州市①
- ・福岡市①
- ・嘉飯桂地域②
- ・佐賀県②
- ・大分県②
- ・長崎県②
- ・長崎市②
- ・島原市④
- ・南島原市③
- ・熊本県①
- ・宮崎県②
- ・鹿児島県①

四国経産局管内（5）

- ・高知県①
- ・徳島県④
- ・高松市④
- ・美波町③
- ・神山町④

北海道経産局管内（10）

- ・札幌市①
- ・函館市②
- ・釧路市①
- ・北見市④
- ・長沼町④
- ・士幌町①
- ・猿払村③
- ・室蘭市④
- ・稚内市④
- ・東川町④

東北経産局管内（10）

- ・山形県③
- ・宮城県①
- ・仙台市②
- ・青森県④
- ・滝沢市④
- ・仙北市②
- ・秋田横連携③
- ・会津若松市①
- ・岩手県④
- ・秋田県④

関東経産局管内（19）

- ・茨城県①
- ・栃木県④
- ・群馬県③
- ・埼玉県②
- ・千葉県②
- ・大田区③
- ・神奈川県②
- ・横浜市②
- ・相模原市②
- ・横須賀市②
- ・湘南地域②
- ・新潟県②
- ・長岡市③
- ・伊那市①
- ・川上村③
- ・山梨県③
- ・静岡県①
- ・藤枝市③
- ・柏崎市④

沖縄総合事務局管内（2）

- ・沖縄県①
- ・沖縄市④



地域のIoTビジネス創出事例

- 先進地域では地元発のイノベーションや連携の結果、地元ベンチャー企業やIoT製品・サービスを創出している（土幌町ラボ・せんだいらボ・湘南ラボ・やまなしラボ・美波町ラボ等）。
- 実証段階の事例として、伊那市では日本初のドローン物流サービスの創出に挑戦中。

IoT Acceleration
Shihoro town Lab



**土幌高校生の開発商品を販売すべく
創設された株式会社Cheers**

IoT Acceleration
Sendai city Lab



**気仙沼の漁協での実証を踏まえた
タラの雌雄自動判定装置**

IoT Acceleration
Shonan Lab



**湘南地域の環境データ活用実証
を踏まえたセンシング製品**

IoT Acceleration
Yamanashi pref Lab



**山梨市での農業IoT実証を踏まえた
サービスパッケージ**

IoT Acceleration
Minami town Lab



**美波町での減災IoT実証を踏まえた
情報通信サービス**

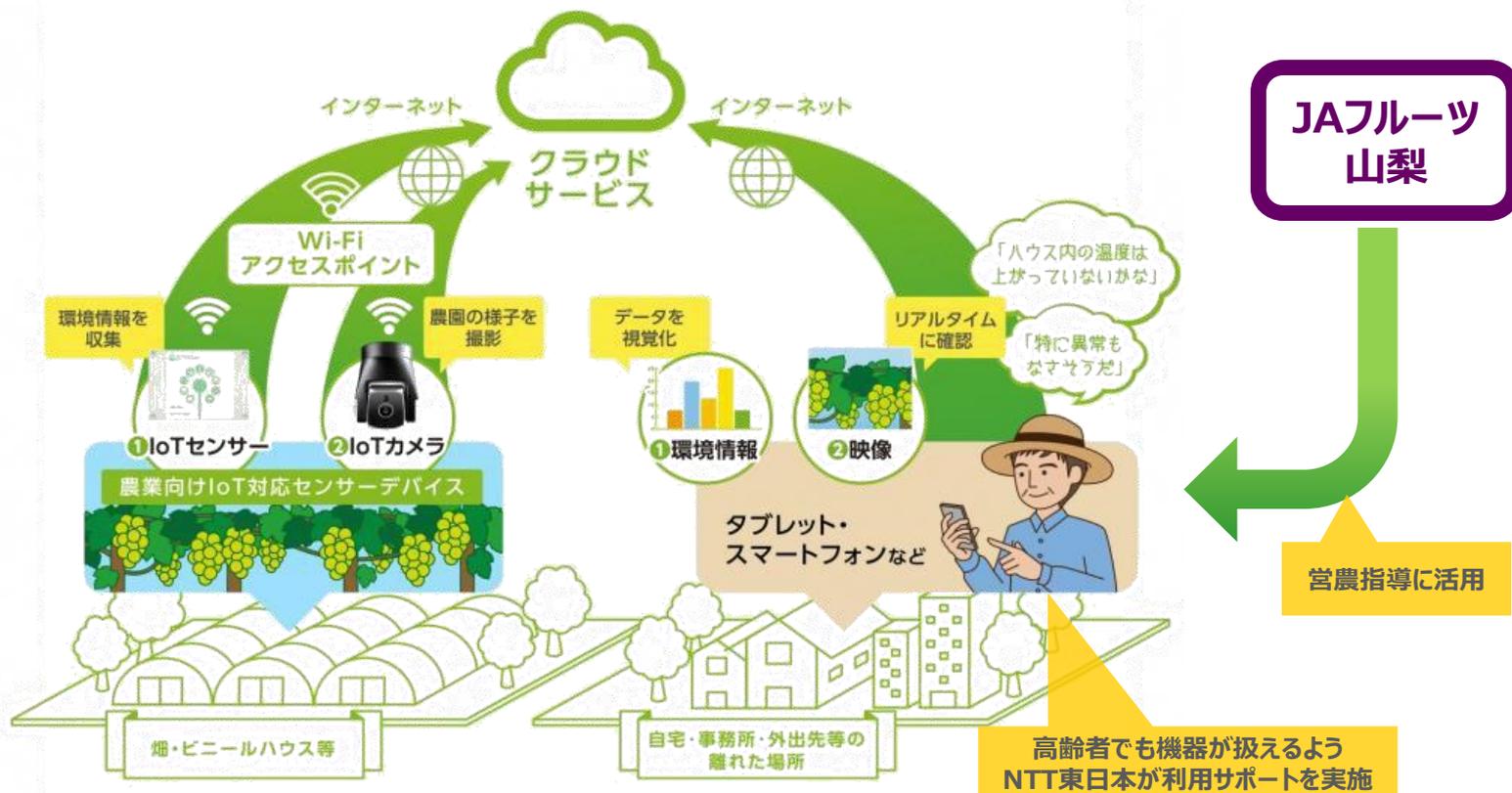
IoT Acceleration
Ina city Lab



**伊那市で創出を目指す
ドローン物流サービス**

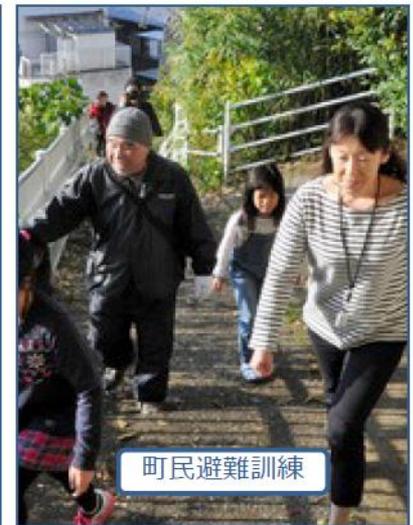
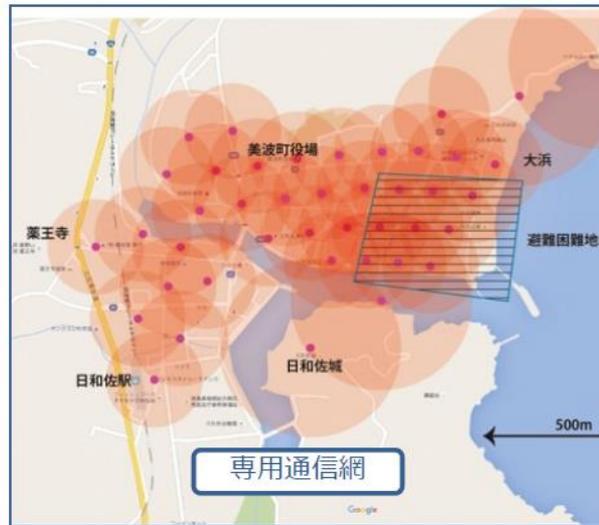
選定地域事例（山梨県）

- 山梨市・JA・地元ベンチャー・通信事業者が連携し、IoTを導入した農家の成果やデータに基づき、フルーツ王国・山梨のブランディングを向上。
- データ活用による山梨発のビジネス創出や、新たな担い手向けの教材への展開を目指す。
- 2017年12月、山梨市での実証実験の結果を踏まえ、IoTパッケージをサービスイン。



選定地域事例（徳島県美波町）

- 美波町では、南海トラフ地震や一次産業の後継者不足への対策として、“止まらない通信網”を活用した防災機能の強化や、水産業等へのIoTプロジェクトを推進。
- 2017年11月、町内の定期的な津波避難訓練において、携帯型ビーコンやスマホアプリにより避難状況を確認する実証実験を実施。避難経路や所要時間などデータ取得に成功。



“止まらない通信網” を活用した命をつなぐ減災推進事業

選定地域事例（福井県永平寺町）

- 永平寺町では、街遊歩道「永平寺参ろーど」を活用した自動走行技術の実用化により、自動走行環境の空間自体を新たな地域資源とした観光誘客、先進企業の誘致、雇用機会の増加、生産年齢人口の流入、地域の若返り、地域コミュニティの再生を図る。

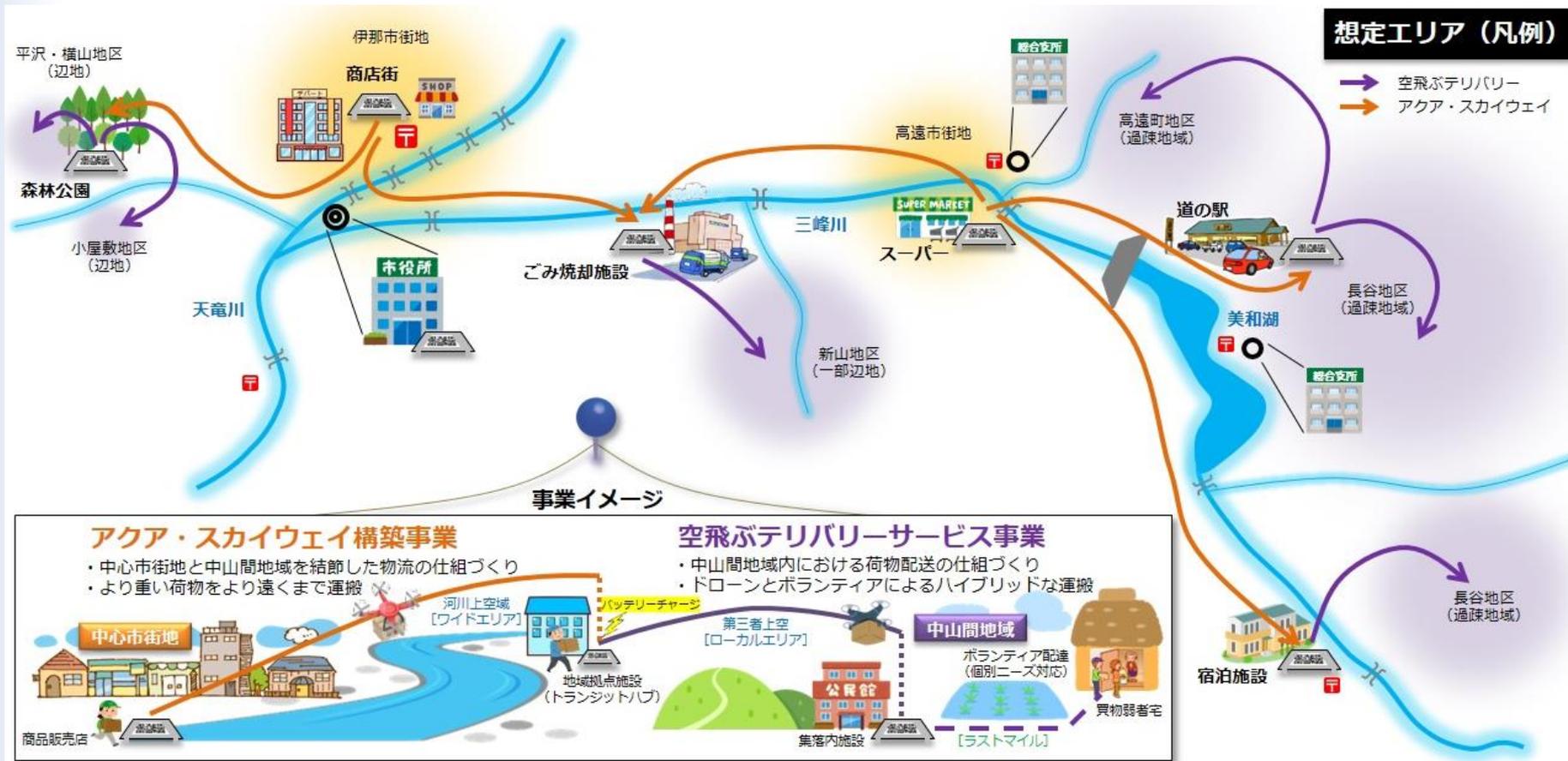


町遊歩道「永平寺参ろーど」での自動走行実験



選定地域事例（長野県伊那市）

- 伊那市は、2016年度以降実施してきた中山間地域での実験を深化させ、国内の行政として初めてドローンによる物流の事業化を目指し、2018年8月から伊那市ドローン物流プロジェクトを開始。



伊那市ドローン物流事業プロジェクト概要（出所：伊那市HP）

選定地域事例（石川県白山市）

- 白山市IoT推進ラボ（事務局：金沢工業大学）では、「KITイノベーションハブ」を拠点として、産官学民の共創により里山地域におけるイノベーションを創出。
- 持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）達成に向けた取組が認められ、2018年6月に内閣府「SDGs 未来都市」として白山市が選定。



KITイノベーションハブ



Alexaスキルアワード公式ハッカソン金沢・白山麓

地方版IoT推進ラボへの支援メニュー



IoT推進ラボ合同イベント連携企画

- 本年9月18日にベルサール新宿グランドにて、「IoT推進ラボ合同イベント」を開催。
- ステージプログラムとして、「地方から変わる生活」等をテーマとしたパネルディスカッション、地方版IoT推進ラボ8地域のブース出展、第4弾ラボの選定証授与式を実施。



地方版IoT推進ラボ8地域ブース出展

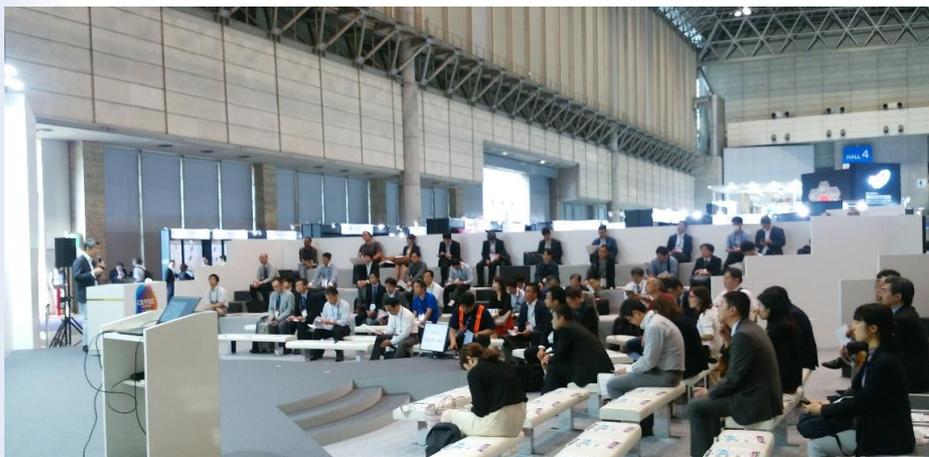


地方版IoT推進ラボ（第4弾）選定証授与式

CEATEC JAPAN 2018ラボ取組プレゼン

- 本年10月16日、17日、幕張メッセで開催されたアジア最大級のIoT展示会「CEATEC JAPAN 2018」にて、IoT推進ラボ選定地域代表として、ブース出展をしていた札幌市ラボと加賀市ラボがオープンステージにて取組をプレゼン。

IoT Acceleration
Sapporo city Lab



・「札幌における産学官連携によるIT産業振興の取組み ～札幌市IoTイノベーション推進コンソーシアムの取組みを中心に～」

- ・講演者：一般財団法人さっぽろ産業振興財団 事業本部長 村椿 浩基 氏
- ・講演概要：札幌市における人材育成・AI関連プロジェクト推進、IT産業振興関連の取組みを紹介。

IoT Acceleration
Kaga city Lab



・「石川県加賀市におけるIoT/ブロックチェーン技術の活用と展望」

- ・講演者：加賀市 経済環境部 理事 奈良 陽一 氏
株式会社スマートバリュー スマートバリュー-Lab.Division 開発推進 Group Team Leader 深山 周作 氏
シビラ株式会社 Co-Founder & CTO 流郷 俊彦 氏
- ・講演概要：地域課題の解決をIoTやブロックチェーンの活用に見出す加賀市から、新技術利活用のきっかけから現在の取組、今後の展望を説明・発表。

IT業界へ向けた情報発信 (デジタルクロス連載) IPA



デジタルクロス 地方版IoT 検索

Column 地方版IoT推進ラボが取り組む課題解決プロジェクト

地域から世界へ、93地域に広がる「地方版IoT 推進ラボ」【第1回】

中村 慧 (情報処理推進機構=IPA 社会基盤センター 主幹) 2018年11月2日



IoT推進コンソーシアムにおける先進的モデル創出のワーキンググループ「IoT推進ラボ」を地方に展開する「地方版IoT 推進ラボ」。2018年9月7日には第4弾が選定され、合計で93地域にまで広がっている。今回は、地方版IoT推進ラボ設置の背景とともに、そこへの期待や、具体的にやり始めた成果の一端を紹介する。

「地方版IoT 推進ラボ」は、地域におけるIoT (Internet of Things : モノのインターネット) ビジネスの創出を加速するために、経済産業省と情報処理推進機構 (IPA) が2016年に立ち上げた取り組みだ。

地域がIoTプロジェクトを提案し地域が自走する

地方においては今、急速な人口減少・少子高齢化により、産業の縮小や若者の流出による担い手不足など、都市部以上に深刻な課題に直面している。こうした課題の解決のためには、IoTやAI (人工知能)、ビッグデータなどのデジタルテクノロジーを活用しながら、地方発の新たな価値創出や熟練した「技」の伝承などにより現状を打破することの重要性が高まっている。

そこで、経済産業省・総務省が創設したIoT推進コンソーシアムにおける先進的モデル創出ワーキンググループ「IoT推進ラボ」を地方にも広げ、テクノロジーを活用した地域課題の解決を図ろうと2016年にスタートしたのが、地域版IoT推進ラボだ。

2018年9月7日、第4弾として19地域が選定され、地方版IoT推進ラボは全国93地域に広がっている (図1)。

デジタルクロス連載第1回 (2018年11月2日)

各地域の活動はポータルサイトで随時配信中 ぜひご覧ください！！

URL : <https://local-iot-lab.ipa.go.jp/>

IoT Acceleration Local Lab
地方版IoT推進ラボ

表示モード ノーマル シニアモード ダークモード
サイト内検索 Google カスタム検索

CREATION SERVICE PROJECT NETWORK TECHNOLOGY DEVELOPMENT THINGS ACCELERATION BUSINESS
IoT Acceleration Local Lab
CONSORTIUM WORKING GROUP MATCHING INFORMATION BIG DATA BUSINESS MODEL AI LAB WEB LABORATORY

現在の地域ラボ数
93

おすすめ記事 Recommend

新着記事 New

地域 Area

北海道
東北
関東
中部
近畿
中国
四国
九州
沖縄

問い合わせ先
独立行政法人情報処理推進機構 (IPA)
社会基盤センター イノベーション推進部 リサーチグループ
地方版IoT推進ラボ事務局 (担当: 中村)
E-Mail : ikc-local-iot@ipa.go.jp
電話 : 03-5978-7522